



高輪だより

令和6年度9月号

港区立高輪幼稚園

園長 佐藤 幸子

わくわく ぼかぼか
みんなえがおの
たかなわようちえん

あきらめない気持ち

園長 佐藤幸子

暑い日が続いております。気象庁の発表によると、今年の夏は8月の平均気温が33.1℃、8月22日の時点で、7月8月の猛暑日が19日だったそうです。皆さんは、暑い中でどのように過ごされたのでしょうか。

さて、今年7月26日より、パリオリンピックが開催されました。今回、日本は海外で開催されるオリンピックで最多のメダル獲得数ということで、日本の選手の活躍が報じられていました。そこで、スケートボードや男子体操団体競技などをはじめ、あきらめないことの大切さを改めて感じました。また、選手がインタビューで「自分も子どもの頃に、活躍する選手の姿を見てこの競技を始めた。子どもたちに興味をもって欲しい」と話していたのが印象的でした。

昨年、本園では、2020 オリンピック・パラリンピックレガシー事業の取り組みで、元フェアリージャパンの田中琴乃さんに新体操を教えていただく機会もありました。幼児も大人も目を輝かせ、心を躍らせて、演技を見たことが思い出されます。幼児にとってオリンピックの方の演技を実際に見たり、競技に触れたりする機会は、今後の人生に大きく影響するような体験であると感じました。

幼稚園では、子どもたちが遊びを通してわくわくしながらやりたい事をみつけ、実現する面白さを味わっています。その中には葛藤や挫折もありますが、やり遂げる満足感、友達や先生の後押しなどを糧に「あきらめずに取り組んだらできた」という経験を重ねて非認知能力が育っていきます。

2学期もわくわく心を踊らせながら子どもたちと楽しい毎日を創っていきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

